



2025年12月期
決算説明会

美樹工業株式会社

2026年3月6日

1. 当社について

会社概要

会社概要（2025年12月末現在）

| | | | |
|-----|----------------|------|------------------|
| 社名 | 美樹工業株式会社 | 設立 | 1962年1月 |
| 代表者 | 代表取締役社長 岡田 尚一郎 | 従業員数 | 連結590名（単体305名） |
| 資本金 | 764百万円 | 上場市場 | 東証スタンダード市場（1718） |

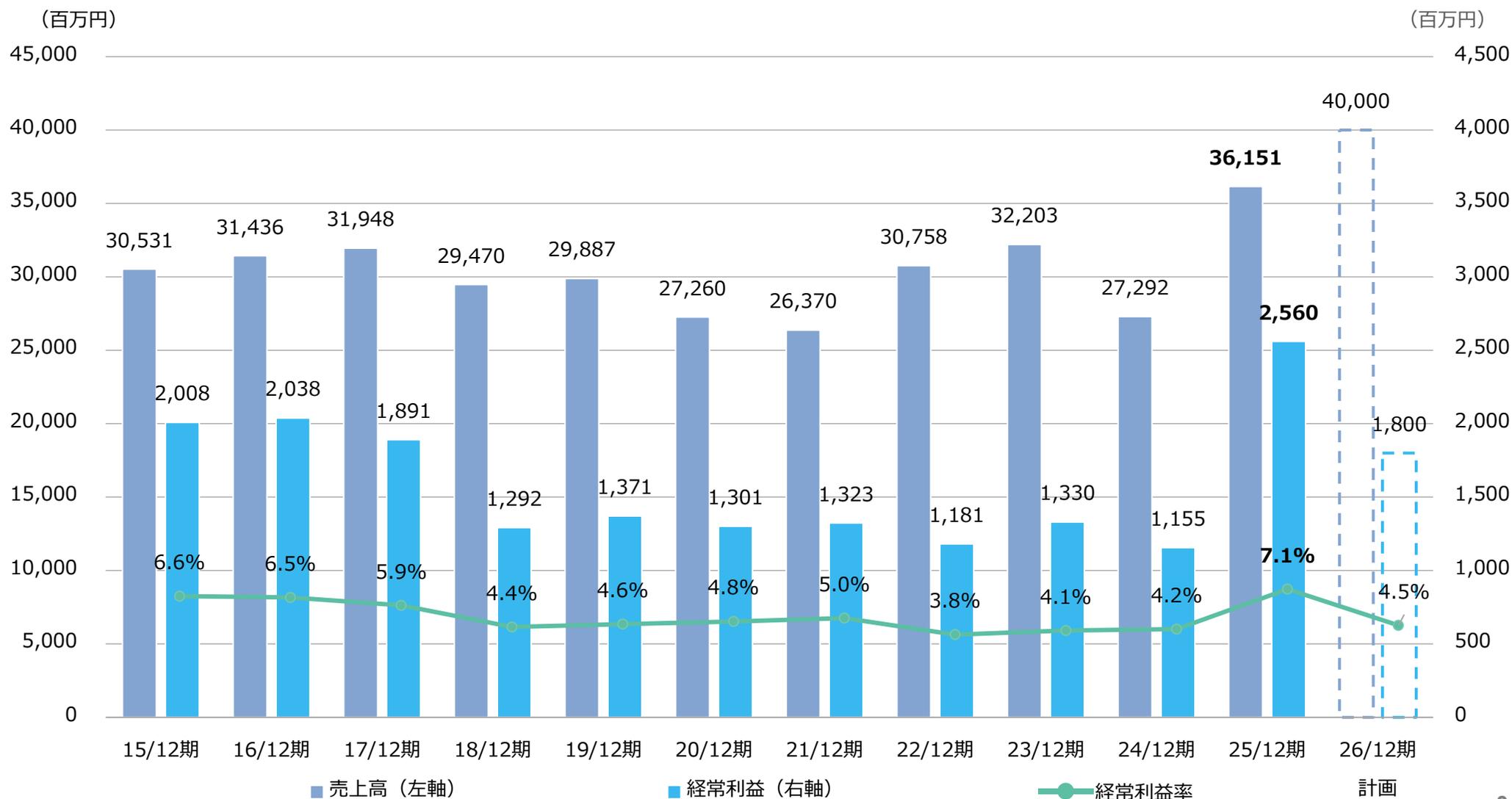
| 会社名 | 住所 | セグメント区分 | 事業内容 |
|-----------------|-------------------------|---------|--|
| 当社 (美樹工業(株)) | 兵庫県姫路市 | 建設 | 建築工事、土木工事、ガス導管敷設工事、ガス設備工事、給排水衛生空調設備工事、不動産物件の賃貸・管理、再生可能エネルギー事業 |
| 連結子会社 | セキスイハイム山陽(株) | 兵庫県姫路市 | 住宅 兵庫県南西部（姫路～加古川）において積水化学工業(株)のユニット住宅の販売・設計・施工管理・リフォーム事業を展開 |
| | (株)リブライフ | 兵庫県姫路市 | 住宅 兵庫県南部において注文住宅の販売・設計・施工管理を行う他、姫路・高砂・加古川を中心に不動産賃貸・売買・管理業を展開 |
| | 三樹エンジニアリング(株) | 神戸市兵庫区 | 建設 神戸市を中心に給排水衛生設備工事を展開 大阪ガスのサービスショップとしてエネファームやガスヒーポンなどのガス機器を販売 |
| | (株)ヒョウ工務店 ^{注1} | 神戸市北区 | 建設 神戸市を中心に建築工事を展開 デジタルサイネージや防犯カメラシステム等も取扱い |

注1：2024年8月M&Aにより取得、2025年度より業績寄与

業績推移

連結業績推移（売上高、経常利益、経常利益率）

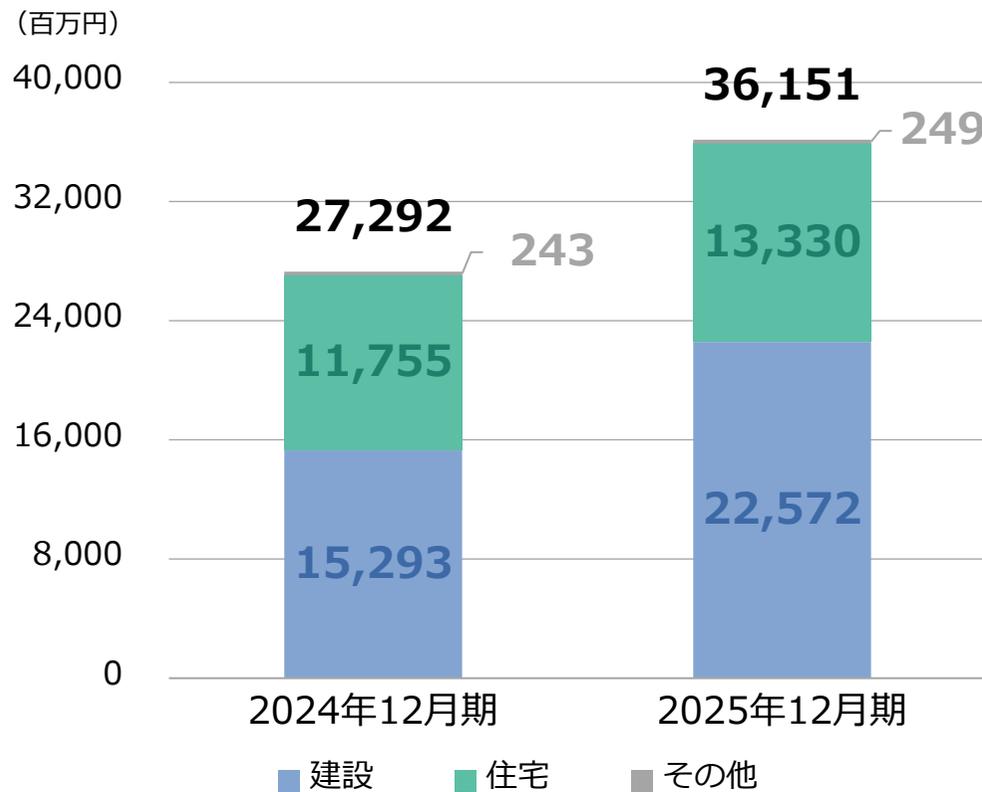
成長軌道はより強固に、9年ぶりに最高益を更新



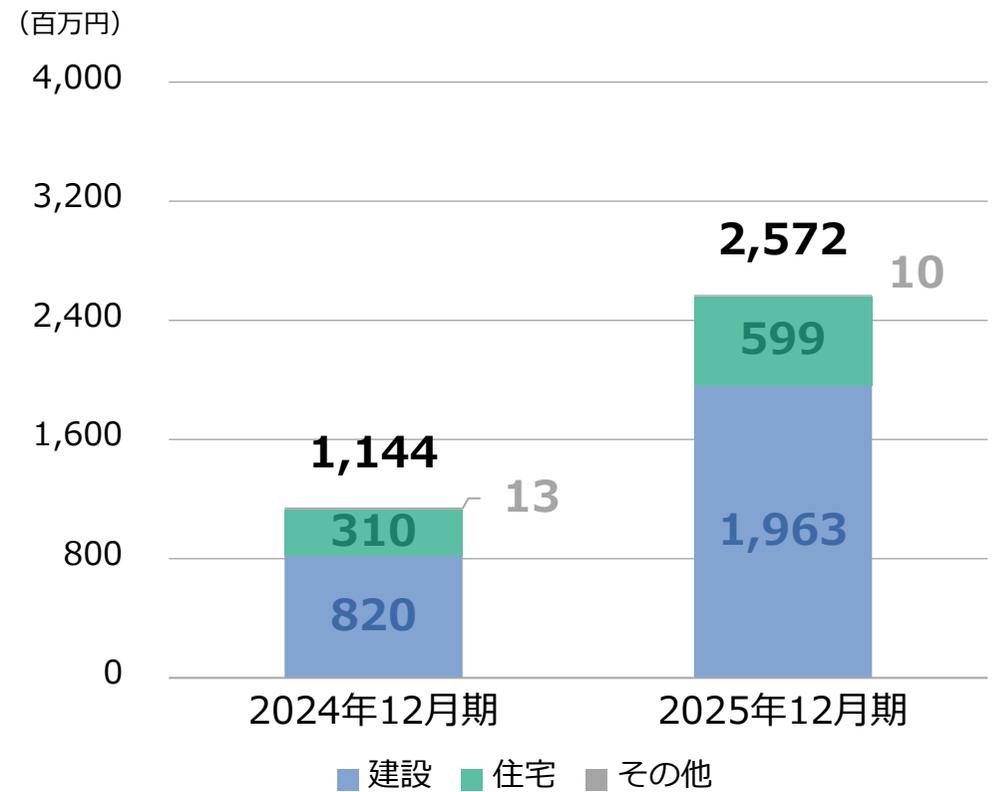
セグメント別売上高、利益

- 弊社の事業ポートフォリオは「建設」「住宅」の2つの事業セグメントにて構成
- 「住宅セグメント」は「セキスイハイム山陽」と「リブライフ」の連結子会社2社が事業主体

セグメント別売上高



セグメント利益(調整額控除前)



2. 25年12月期決算について

連結損益の状況 ー全社ー

- 25年12月期は、建設セグメントにおいて手持ちの大型物件工事が順調に進捗したこと等から、売上高は前年同期比32.5%増
- 営業利益は、住宅セグメントにおいて新築売上棟数の増加による影響や、建設セグメントにおいて追加工事請負により採算が拡大したこと等から、前年同期比127.7%増

(百万円)

| | 24年12月期 | | 25年12月期 | | 増減 | 伸び率 |
|---------------------|---------|------|---------|------|-------|--------|
| | 金額 | 利益率 | 金額 | 利益率 | | |
| 売上高 | 27,292 | - | 36,151 | - | 8,859 | 32.5% |
| 営業利益 | 1,134 | 4.2% | 2,583 | 7.1% | 1,448 | 127.7% |
| 経常利益 | 1,155 | 4.2% | 2,560 | 7.1% | 1,405 | 121.7% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 658 | 2.4% | 1,571 | 4.3% | 913 | 138.8% |

業績修正について①

2025年7月、及び2026年2月、業績修正を実施（上方修正）

- 土木工事、設備工事において、追加工事の請負、設計変更提案による採算改善、及び物価スライドによる変更の効果あり

(百万円)

| | 25年2月予想 | | 25年7月予想 | | 26年2月修正 | |
|---------------------|---------|----|---------|-----|---------|-------|
| | 金額 | 増減 | 金額 | 増減 | 金額 | 増減 |
| 売上高 | 35,000 | — | 35,000 | — | 36,151 | 1,151 |
| 営業利益 | 1,500 | — | 1,900 | 400 | 2,583 | 683 |
| 経常利益 | 1,500 | — | 1,900 | 400 | 2,560 | 660 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 900 | — | 1,100 | 200 | 1,571 | 471 |

業績修正について②

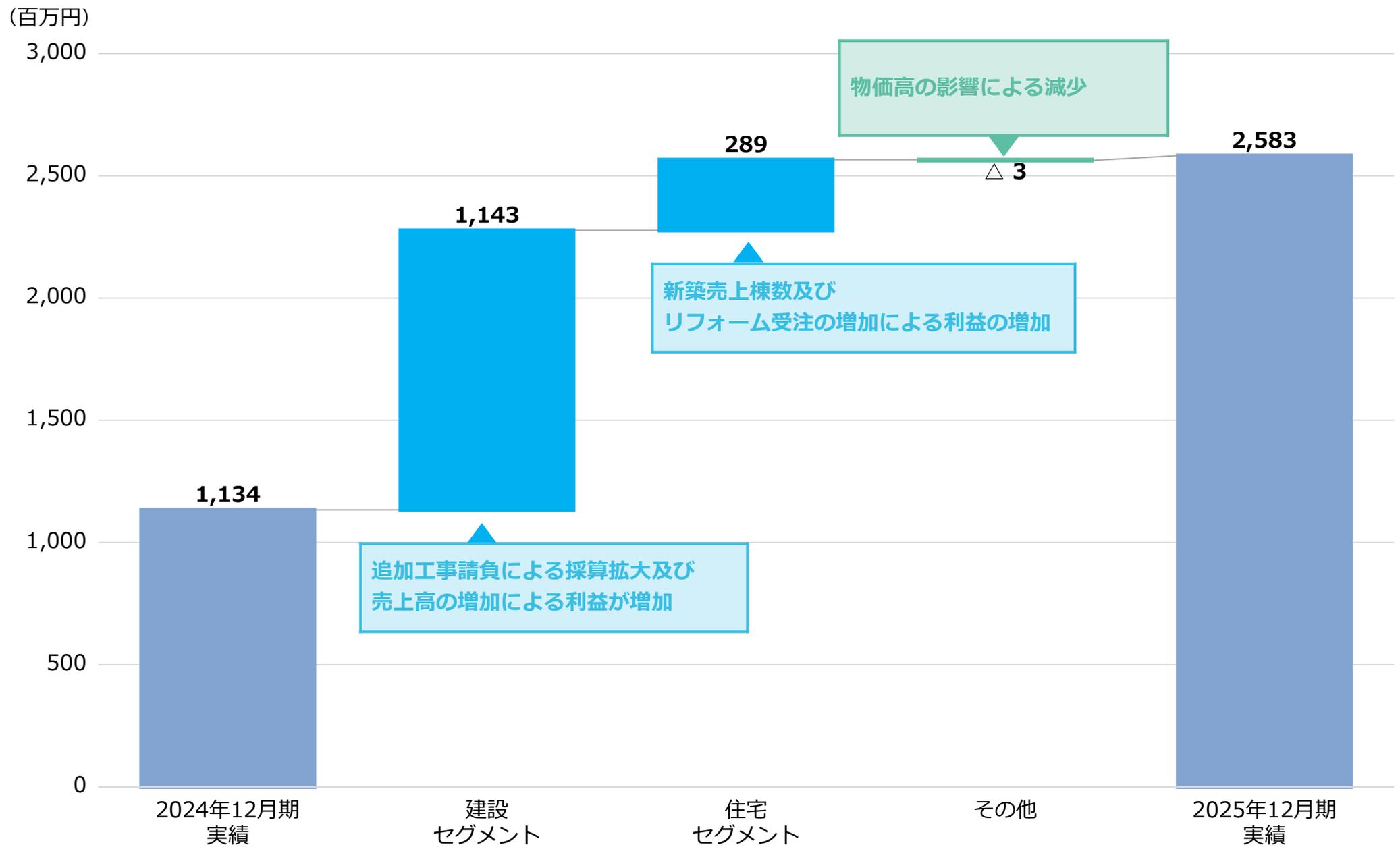
業績修正につながった主な工事概要

- 今年度は、官需工事における設計変更の提案、追加工事の請負等が随時行われ、利益の拡大につながった

(百万円)

| | 工事概要 | 官・民 | 請負増加額 | 利益増加額 | 竣工月 | 主な要因 |
|---|----------------|------|-------|-------|----------|--------------------|
| 1 | 水害対策工事 | 官/地方 | 24 | 92 | 2025年3月 | 設計変更の提案 物価スライド |
| 2 | 工場用地造成工事 | 民間 | 9 | 62 | 2025年4月 | 工期が順調進捗のため |
| 3 | 浄水設備工事 | 官/地方 | 15 | 13 | 2025年6月 | 追加工事を請負 |
| 4 | アンダーパス 新設工事 | 官/国 | 4 | 22 | 2025年10月 | 設計変更の提案 |
| 5 | 機械設備更新工事 | 官/地方 | 230 | 397 | 未成工事 | 追加工事の請負 実行予算の減少 |

営業利益の増減要因

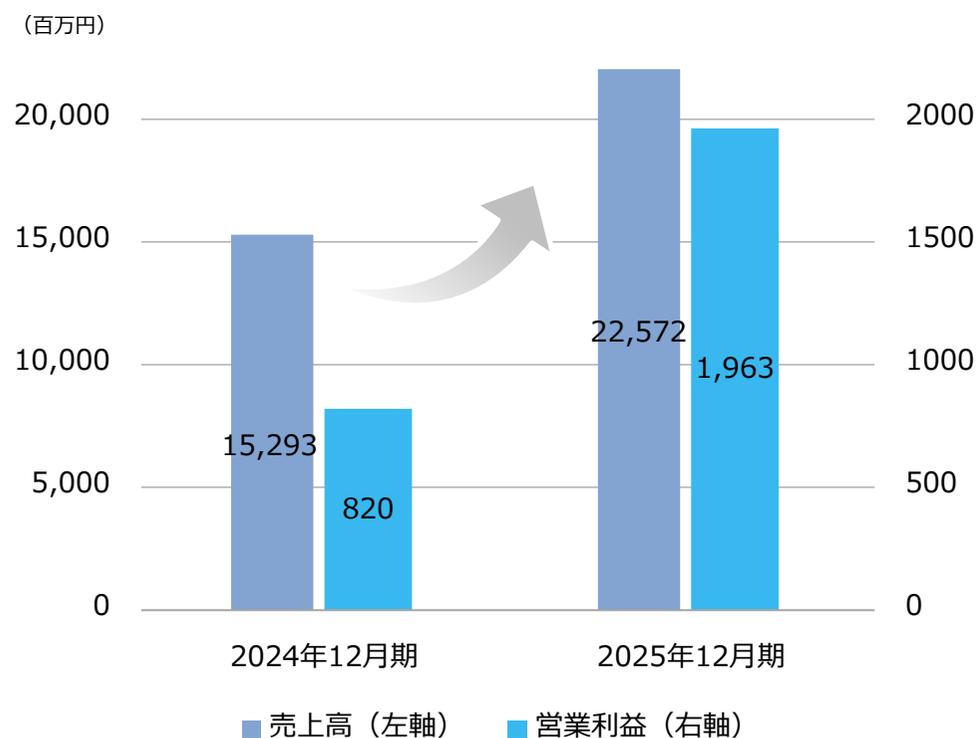


(ご参考) 事業別の実績と状況①

建設事業

| | |
|------|---|
| 事業環境 | <ul style="list-style-type: none"> 建設投資額は当面高水準が続き、受注環境は良好 設備工事等、外注する施工業者の確保に苦心 資材、労務費の上昇が続いていることが懸念材料 |
| 特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> 良好な受注環境をふまえ、受注は昨年を上回った 大型工事も着実に進捗し、完成工事高も昨年以上 繰越工事高の減少は、来期初の大型工事受注で補完 |

事業別業績



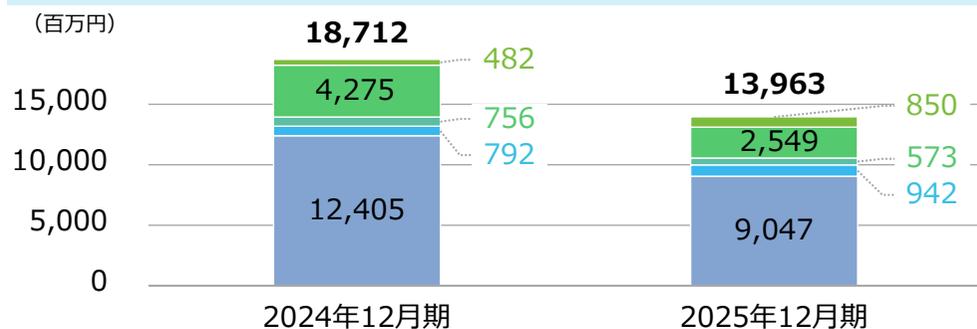
受注工事高



完成工事高



繰越工事高



■ 建築 ■ 土木 ■ ガス導管敷設 ■ 給排水衛生空調 ■ ガス設備

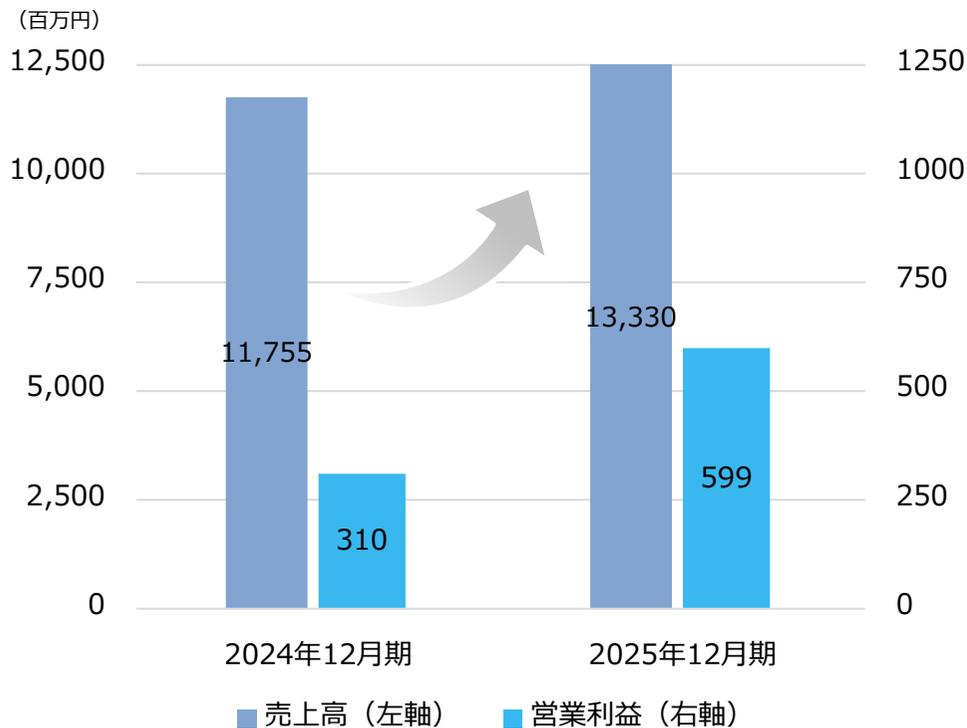
※受注・完成・繰越工事高は美樹工業単体の実績値です

(ご参考) 事業別の実績と状況②

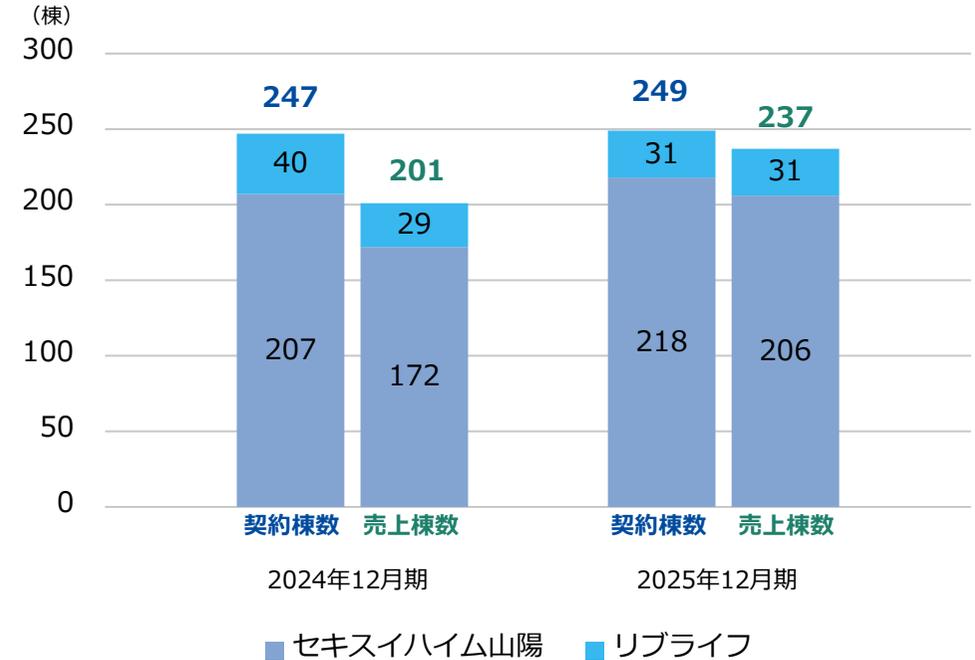
住宅事業

| | |
|------|--|
| 事業環境 | <ul style="list-style-type: none"> 地価・建設コスト増により一戸あたりの単価が上昇 賃貸の増加によりアパートの契約が伸び始めている リフォームは前年のひょう災害に伴う特需が一服 |
| 特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> 自社分譲地（68区画）が新築棟数拡大に寄与 リフォームの契約単価は高水準を維持、収益に貢献 新たな区画確保を進めるが、価格上昇が懸念材料 |

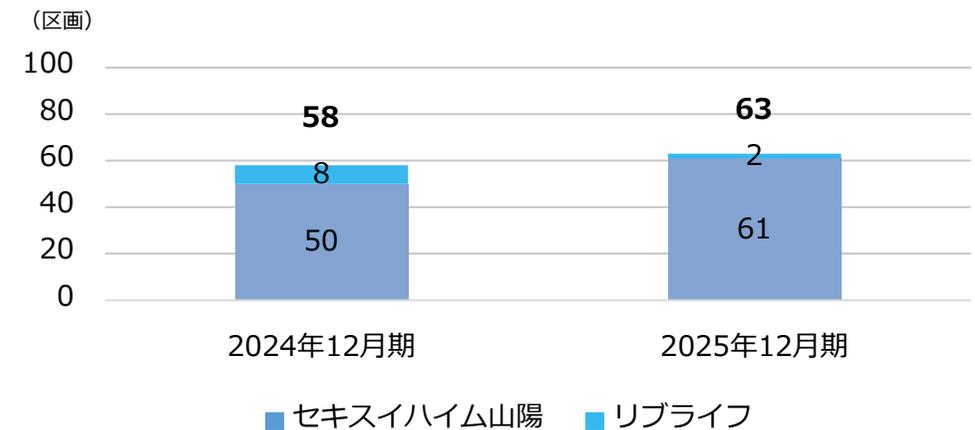
事業別業績



戸建住宅・契約棟数



土地売上区画数

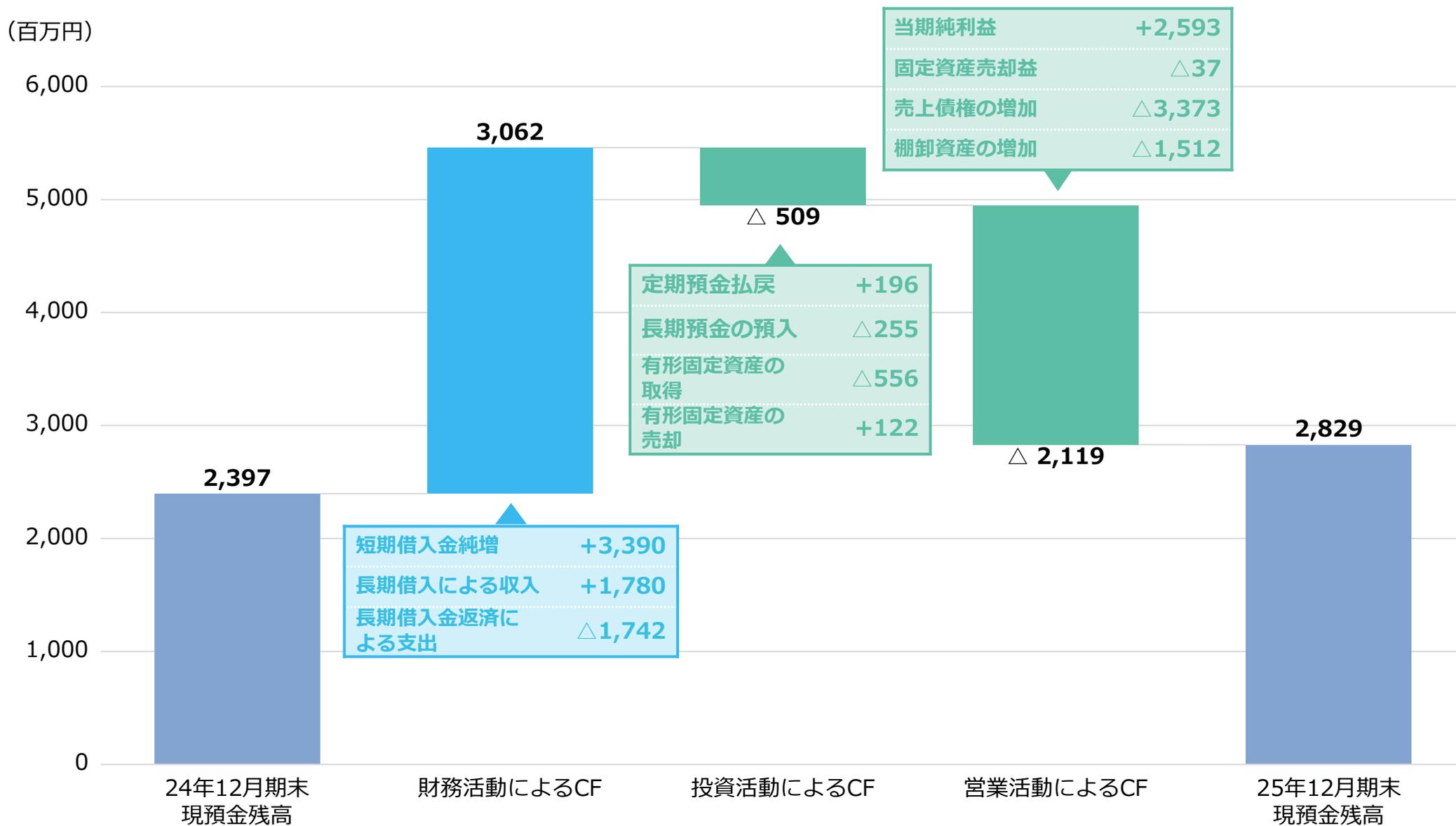


バランスシート状況

| | 24年12月期 | 25年12月期 | 増減額 | |
|--------------------|---------|---------|--------|------------------------|
| (百万円) | | | | |
| 流動資産 | 15,506 | 21,078 | 5,571 | |
| 現金預金 | 2,572 | 2,794 | 221 | |
| 受取手形・完成工事未収入金 | 5,311 | 8,684 | 3,373 | 工事進行基準に係る完成工事の計上による増加 |
| たな卸資産 | 7,152 | 8,647 | 1,494 | |
| 固定資産 | 17,064 | 17,804 | 739 | 販売目的の収益マンション用地の取得による増加 |
| 有形固定資産 | 14,890 | 15,363 | 473 | |
| 無形固定資産 | 284 | 203 | △81 | |
| 資産合計 | 32,571 | 38,882 | 6,310 | |
| 流動負債合計 | 9,076 | 14,400 | 5,324 | 運転資金として短期借入実行による増加 |
| 支払手形・工事未払金等 | 2,190 | 2,184 | △5 | |
| 短期借入金 ^注 | 3,325 | 7,812 | 4,487 | |
| 未成工事受入金 | 1,943 | 2,051 | 107 | |
| 工事損失引当金 | 11 | 0 | △11 | |
| 固定負債合計 | 5,606 | 4,949 | △657 | |
| 社債・長期借入金 | 3,782 | 2,723 | △1,059 | |
| 純資産合計 | 17,887 | 19,532 | 1,644 | |
| 負債・純資産合計 | 32,571 | 38,882 | 6,310 | |

注：短期借入金には短期借入金その他、1年以内返済予定の長期借入金、1年以内返済予定の社債を含む

キャッシュフローの状況



株主還元について

- 当社は、剰余金の配当に関しまして、株主還元を経営上の重要課題の一つと考え、連結配当性向30%以上を基準に安定的な配当の実施及び将来の事業拡大のための内部留保などを勘案して決定することを基本方針としております
- 25年12月期につきましては、以下のとおり、普通配当の増配及び特別配当を予定しております
また、26年2月には、自己株式の取得をいたしました、引き続き、株主の皆様へ還元を拡大できるよう努めます
- 26年12月期につきましては、以下の配当予想としております^{注1}

過去5期の配当の実績と来期予想

(円)

| | 21年12月期 | 22年12月期 | 23年12月期 | 24年12月期 | 25年12月期 | 26年12月期 (予想) ^{注1} |
|---------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|-------------------------------|
| 中間配当金 | 50 | 50 | 80 | 100 | 150 | 150 |
| 期末配当金 | 110 | 100 | 150 | 100 | 200 | 150 |
| (うち普通配当金) | 50 | 50 | 80 | 100 | 150 | 150 |
| (うち特別配当金/記念配当金) | 60 | 50 | 70 | — | 50 | — |
| 合計 | 160 | 150 | 230 | 200 | 350 | 300 |
| (参考) 連結配当性向 ^{注2} | 23.9% | 22.3% | 29.9% | 33.2% | 24.3% | 29.8% |

注1：26年12月期の配当予想につきましては、26年2月13日発表の決算短信に記載の数値を記載しております

注2：26年12月期につきましては、26年2月13日発表の業績予想に基づく一株当たり利益（1,006.53円）を基準に算出しております

3. 26年12月期業績予想について

業績予想 ー全社ー

- 建設セグメントにおいて、前連結会計年度の繰越工事及び受注工事の工事進捗に伴い売上計上見込みであり、売上高は10.6%増の予想
- 建設コストの増加による影響等から経常利益は29.7%減を予想

(百万円)

| | 25年12月期 | | 26年12月期 (予想) | | 増減 | 伸び率 |
|---------------------|---------|------|--------------|------|-------|--------|
| | 金額 | 利益率 | 金額 | 利益率 | | |
| 売上高 | 36,151 | - | 40,000 | - | 3,848 | 10.6% |
| 営業利益 | 2,583 | 7.1% | 1,800 | 4.5% | △783 | △30.3% |
| 経常利益 | 2,560 | 7.1% | 1,800 | 4.5% | △760 | △29.7% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,571 | 4.3% | 1,100 | 2.8% | △471 | △30.0% |

主要セグメントの事業環境・重点施策

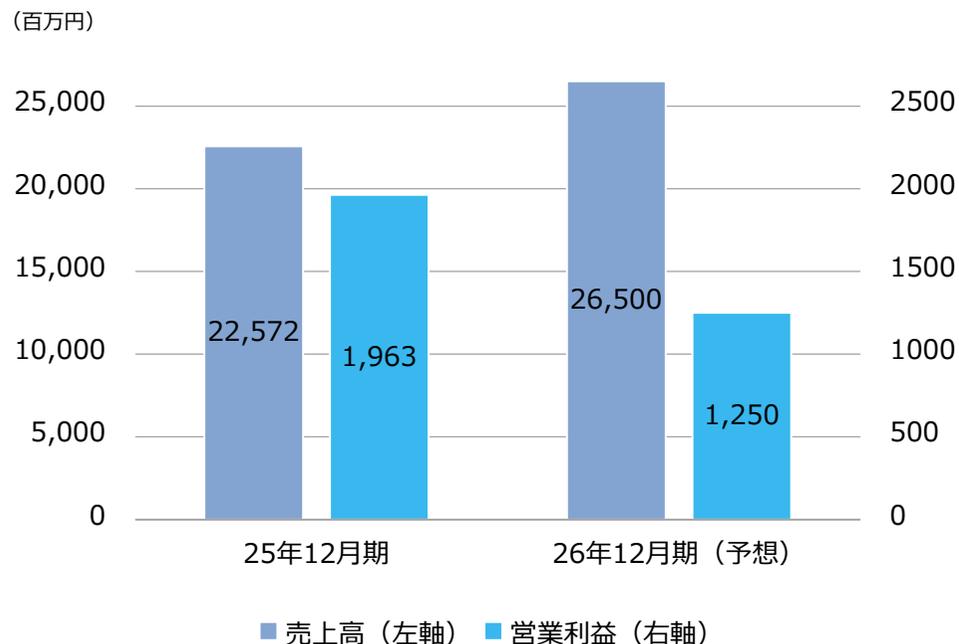
建設セグメント

| | |
|-------------|--|
| 事業環境 | <ul style="list-style-type: none"> 年度前半は、良好な受注環境の持続を見込んでいる 繰越工事の着実な施工を見込み、手堅い予想 年々、夏季の高温や労働時間管理等、人員面の余力が少なくなっている点が不安材料 海外での紛争に端を発した燃料等の高騰や円安が招く物価上昇も警戒を要する |
| 重点施策 | <ul style="list-style-type: none"> 施工能力面から、受注は2027年着工案件に注力 1棟売りマンションは2棟（川口・玉造）を予定どおり引き渡し 蓄電池・東京支店に次ぐ成長マーケット構築の具体化 |

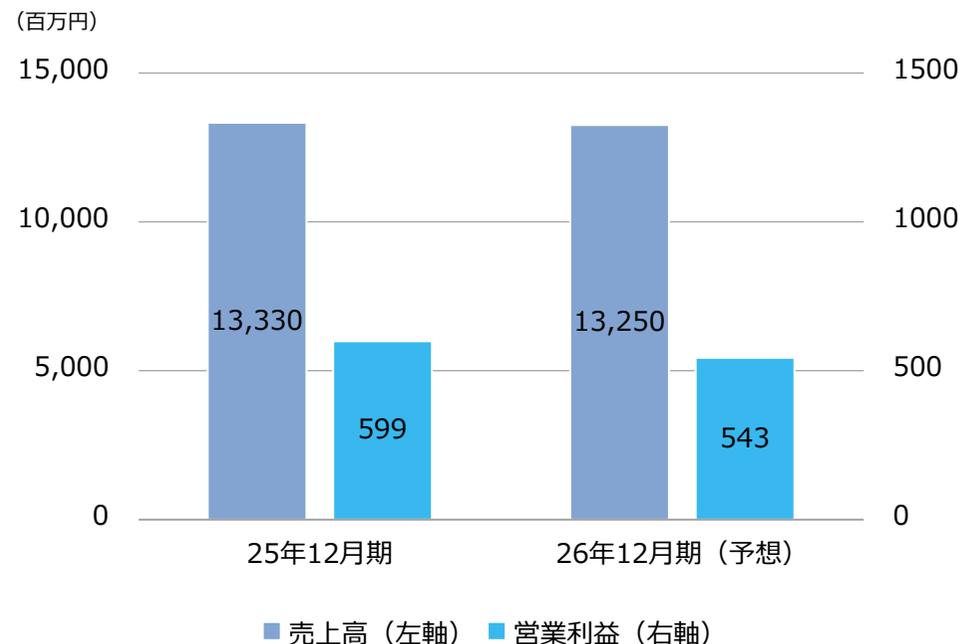
住宅セグメント

| | |
|-------------|--|
| 事業環境 | <ul style="list-style-type: none"> 物価上昇や金利上昇に伴う、購買動向の変化に留意する ニーズの多様化（廉価、平屋、アパート）に応じた品揃えが必要 区画仕入れや販売価格の設定における企画力の向上が必要 |
| 重点施策 | <ul style="list-style-type: none"> 新商品（積水化学/コスパ型）を顧客へ訴求する 新業態店舗「いえとちテラス」によるニーズ発掘を推進 自社区画の確保に向け精度の高い仕入れを実施 |

セグメント業績予想



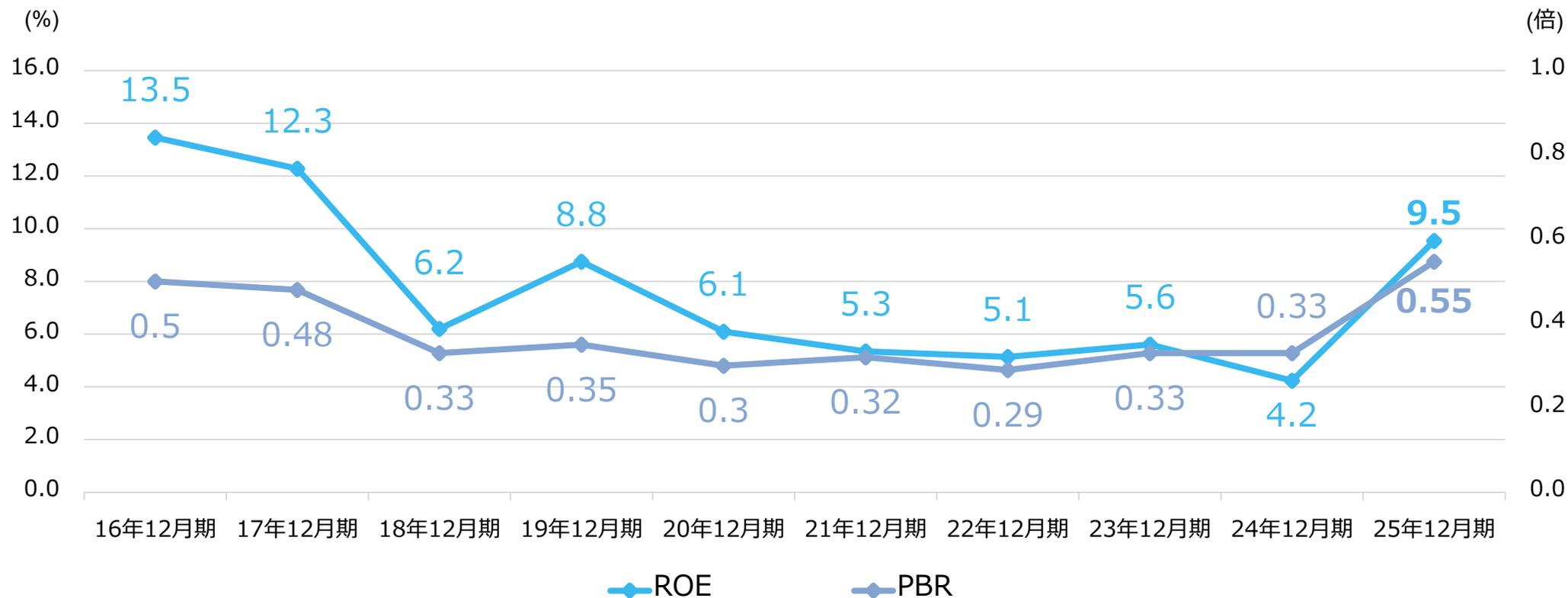
セグメント業績予想



4. 資本コストや株価を意識した 経営の実現について

資本コストや株価を意識した経営の実現について（PBRとROEの推移）

- 直近10年間、PBRは1倍未満で推移
- ROEが相対的に高い年度でも、PBRは1倍を上回らず



常態化している「PBR1倍割れ」を解消する対応策の整備が急務

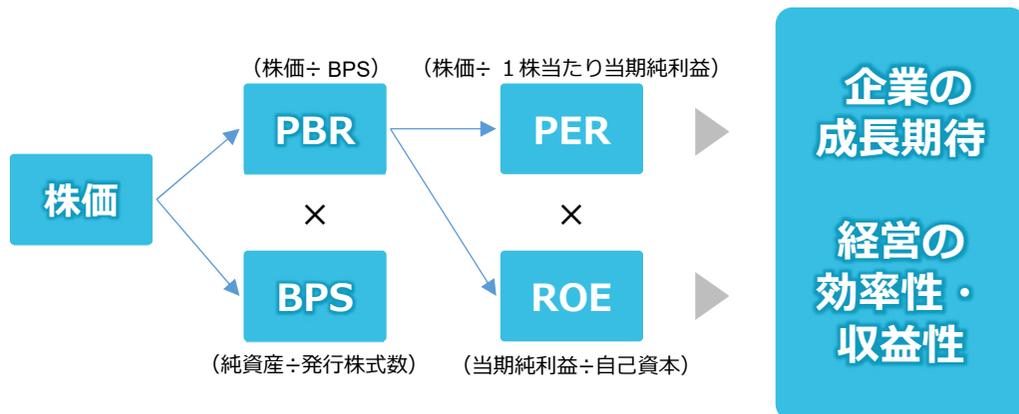
資本コストや株価を意識した経営の実現について（施策）

- PBR 1 倍割れの解消は経営の最重要課題の一つとして認識
- PBR改善に向けて以下に掲げる取り組みを実行し、収益性と資本効率の向上を図る

株価の推移



株価上昇に伴い、直近1年はPBRも改善傾向



PBR向上に向けたコーポレートアクションの検討内容

成長期待の醸成

- 事業ポートフォリオの適正化

資本効率性の改善

- IR活動の強化

資本コストの低減

- 収益力の強化 (M&A等への積極投資)

- 財務レバレッジの活用

その他

- 自己株式の取得
- 株式分割の実施 等 (株価向上策の検討)

5. 経営方針・中期経営計画の 進捗状況について

経営方針について

1

部門別戦略に基づいた活動強化

2

M&Aや他社との連携等、新たな事業領域の発掘

3

人材への投資拡大

4

業務運営のデジタル化推進

5

株主配当の着実な向上

6

働き方改革や、健康経営の継続的推進

経営方針について（進捗状況①）

経営方針について

1

部門別戦略に基づいた活動強化

- ▶ **ごみ焼却場、医療機関を継続受注**
- ▶ **蓄電所事業へ参入**

2

M&Aや他社との連携等、新たな事業領域の発掘

- ▶ **首都圏の強化**
- ▶ **新領域の参入に向け、資本参加等を協議中**

3

人材への投資拡大

- ▶ **平均年収100万円UPを目指し、人事制度改定を実施**
- ▶ **階層別研修の拡充**
- ▶ **働きやすい福利厚生制度の見直しを継続中**

経営方針について

4

業務運営のデジタル化推進

- ▶ 施工部門：ICT・ドローン等、省人化ツールを順次導入
- ▶ 管理部門：資格保有状況等、人事データのデジタル化移行

5

株主配当の着実な向上

- ▶ 普通配当の増配、期末特別配当を実施予定
- ▶ 自己株式の購入を実施 ⇒ 総還元の拡充を進めました

6

働き方改革や、健康経営の継続的推進

- ▶ 年間休日を120日へ拡充等、過重労働への対策を実施
- ▶ 健康セミナーの開催を継続中
- ▶ 時間単位有給休暇制度を導入予定

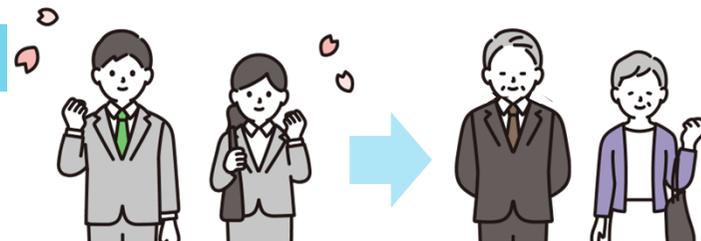
中期経営計画「2024-2028」の進捗状況

| | | | | |
|------|------------|-----------------------------|------------|---|
| 数値目標 | 売上高 | 2028年度目標（連結） 売上高目標：400億円 | 営業利益率：5.7% | 3点を別紙でご説明します [1] 賃金制度改定～人的資本経営 [2] 蓄電池事業 [3] 収益マンション等、東京支店の強化 |
| | 収益性（営業利益率） | 2028年度目標（単体） 売上高目標：250億円 | 営業利益率：8.0% | |

| 主な項目 及び 目的・目標 | | 足元の進捗・取組状況 | |
|---------------|-------------------------------------|---|---|
| 3つの基本方針 | 事業基盤の強化 専門性を活かし 総合力を発揮 | ゼブコン Zeb-Con ゼネコン・サブコン融合型 重点分野の受注拡大 | 現在、以下の分野で成果が現れ始めている ・ゴミ処理場：新たな大型受注を実現 ・太陽光： 蓄電池分野へ参入 （系統用蓄電所の企画販売及び施工が2026年本格始動） ・ 収益マンション（1棟売り）事業の着実な取組み |
| | 人を大切に経営 人を活かし 社員が誇れる会社 | エンゲージメント強化 人材教育・育成の充実 社内DX化推進の加速 | 健康経営や職場環境改善の推進（社内の全面禁煙等） 新人へのメンター・メンティ制度の導入 階層別研修等、研修制度の見直し 現場効率改善に向けた取組み強化 （ICT施工/ドローンや現場管理アプリの導入） |
| | 戦略的投資計画 「1%ルール」の策定 | スタートアップ事業・研究開発 …社内公募型PJにより事業化 人への投資 …管理部門強化、業務改善投資等 事業領域の拡大 …M&Aによる領域拡大等 | 社内公募型PJは取組中 人事評価制度、賃金制度改定 のアクションプランを実施中 （2026年度から適用を予定） 2024年度M&Aを実施（工務店）ガス設備でシナジー発揮 |

美樹工業の目指す！「社員にとってイイ会社」

定年まで勤めたい と思える会社



改革ポイント 2

新しい基本給の構造
||
「号棒給」と「能力給」

社員・会社ともに成長

改革ポイント 1

上司と部下の対話
する時間を増やし
挑戦や貢献度を評価

評価「精度」を向上

改革ポイント 3

利益率に応じて
上乗せ加算月数が決定
賞与で全社員に支給

成果を
社員・会社で分かち合う

| | 2024年度 | 2025年度 | 改定後・見込 | 目標値 |
|--------|---------|---------|---------|------------------|
| 平均年間給与 | 約 575万円 | 約 585万円 | 約 609万円 | 100万円UP 700万円 |
| 従業員数 | 297名 | 305名 | 308名 | — |

中期経営計画（進捗状況）

〔2〕蓄電池事業について

- ・ 自社運営の蓄電所建設を皮切りに、本事業へ参入済、今後は請負を中心に拡充予定
- ・ 用地の手配や系統連携の調査が先行、業績への本格寄与は2027年12月期を見込む

※未決定事項を含みます、売上高は完工ペースで集計しております

(百万円)

| | | 事業特性 (収入内容) | 2025年度 (実績) | 2026年度 (予定) | 2027年度 (計画) | 2028年度 (計画) |
|------|-------------|--------------------------|------------------------|----------------|----------------|----------------|
| 事業領域 | 売上高 | - | - | 50 | 1,500 | 2,000 |
| | 蓄電所(自社運営) | 卸電力市場・容量市場・需給調整市場での約定による | (参入済) | - | 40 | 150 |
| | EPC請負 | 設計・調達・施工一式請負 | (参入済) | 50 | 1,460 | 1,850 |
| | FIT → FIP転換 | 太陽光発電所蓄電池併設化 | - | - | (事業領域を拡充) | - |
| 経常利益 | | - | - | 5 | 150 | 200 |
| 工事内訳 | 阿曾蓄電所 | 自社運営 (リース会社共同) | 経産省補助金事業採択 | -----▶ | 2027/9 運転開始予定 | |
| | EPC①・特命 | 施主所有地に設置 | 電力協議・連携対策工事、地盤等調査 | 設計等、順次契約 | -----▶ | 2028/4 運転開始予定 |
| | EPC②・自社開発 | 借地に設置 | 借地確保、電力協議・連携対策工事、地盤等調査 | 設計等、順次契約 | -----▶ | 2028/4 運転開始予定 |
| | EPC③・自社開発 | 用地を先行取得転売後、設置 | 電力協議・契約・連携対策工事、地盤等調査 | 設計等、順次契約 | 2027/4 運転開始予定 | |
| | EPC④・特命 | 用地の確保以外設計から施工まで | 施工請負は決定済見積等順次実施 | -----▶ | 2027/11 完工予定 | |

中期経営計画（進捗状況）

〔3〕東京支店強化の取組み

- 東京支店は、2022年12月に開設
- 後発ゆえに、協力業者の開拓が難航、一方で、収益マンション販売は着実に進展、2026年度、拠点の黒字化見込み

(百万円)

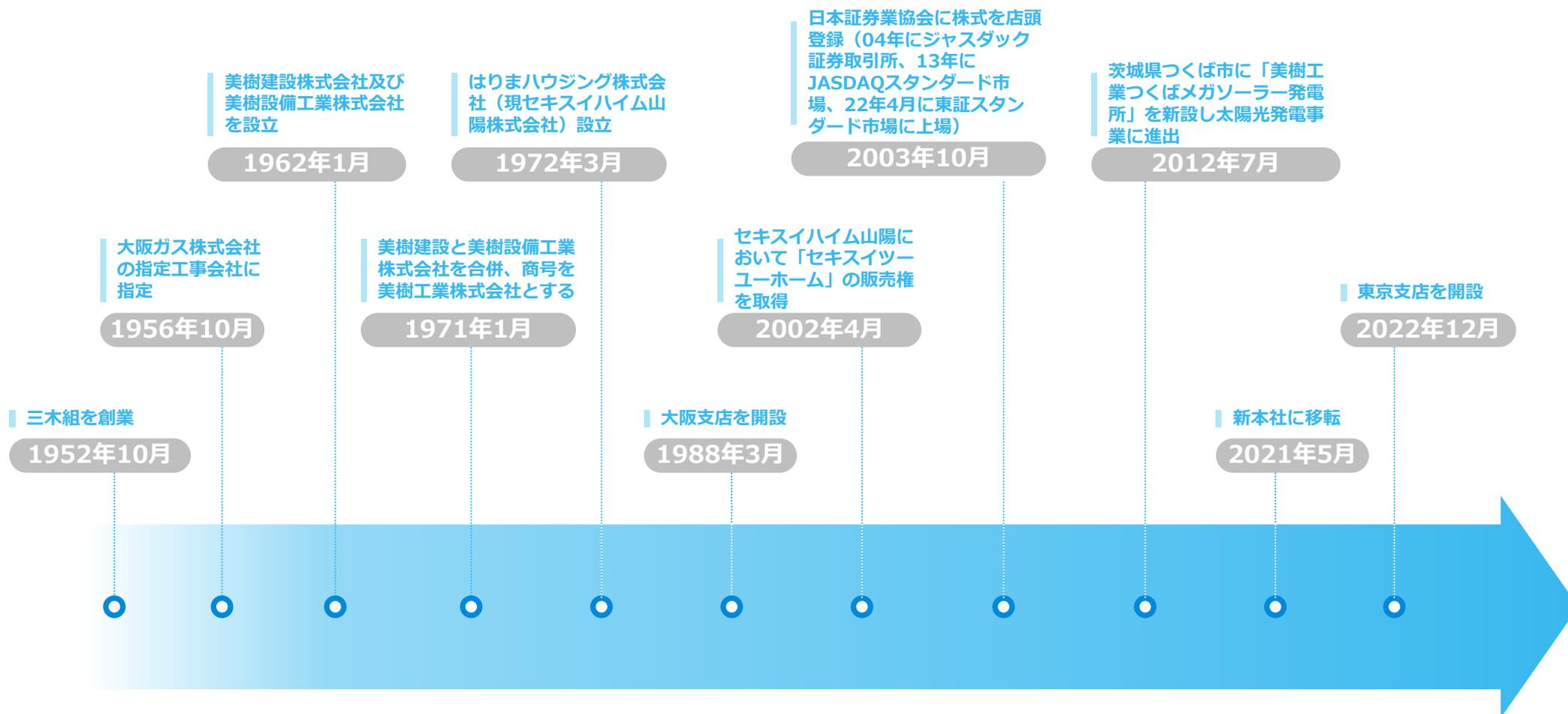
| | | 2024年度 (実績) | 2025年度 (実績) | 2026年度 (予定) | 2027年度 (計画) | 2028年度 (計画) |
|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 売上高 | | 87 | 221 | 3,000 | 3,700 | 5,000 |
| うち 収益マンション | | - | - | 2,390 | 3,840 | - |
| 経常利益 | | ▲70 | ▲66 | 210 | 270 | 390 |
| 内 訳 等 | 収益マンション売却（1棟売） | | | 埼玉県川口市 | 東京都北区 | 未定 |
| | 一般施工 | | 公共（区） 工事参入 | 他デベ マンション請負 | 公共（官庁） 工事参入 | |
| | 体制強化策 | | | | 施工会社と連携 | リニューア ル参入 |

6. ご参考資料

会社沿革

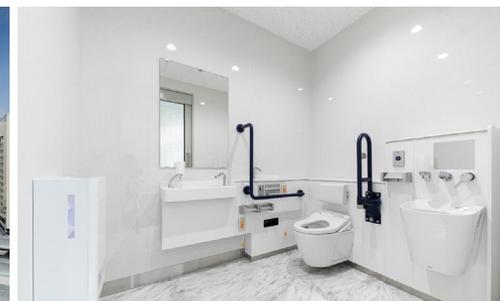
会社沿革

当社は1952年に兵庫県姫路市に建築請負を主業に創業し、その後設備工事業に進出、1972年には子会社にて住宅事業に事業を拡大しましたその後、2012年には太陽光発電事業に進出し、現在の事業内容となっております



事業内容

建設セグメント



| 事業内容 | |
|---------------|--|
| 建築 | 関西圏を中心に公共施設・商業施設・マンション・倉庫等の施工を行う |
| 土木 | 兵庫県下を中心に河川・下水道・道路建設等の施工を行う |
| ガス導管敷設 | 大阪ガスネットワーク(株)の外管工事会社として都市ガス導管の新規敷設、経年菅入替の施工を行う |

| 特色 | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 当社の原点であり、創業以来発注者との信頼関係を強め、コンスタントに受注を獲得 収益拡大を視野に、賃貸収益マンションの建設・販売事業へ進出 成長戦略として、地盤の強化と商圏の拡大を視野にM&Aの活用も視野 | |

| 事業内容 | |
|----------------|--------------------------------------|
| ガス設備 | 関西圏を中心にガス配管工事や、ガス機器、住宅設備機器の施工を行う |
| 給排水衛生空調 | 関西圏を中心に給水・給湯・排水・冷暖房工事を行い、メンテナンス業務も実施 |
| 太陽光発電設備 | 全国で太陽光発電設備の設置工事を手掛ける |

| 特色 | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 長年に亘って培ってきたガス工事会社としての知名度、実績を背景に様々なハウスメーカーの設備工事を受注 自社で太陽光発電所を保有し発電事業を手掛けるノウハウを背景に太陽光発電設備工事を全国で展開 | |

その他の事業内容

- 当社において兵庫県下を中心に不動産賃貸を行う
- 日本国内に5か所の太陽光発電所を保有し、電力会社へ電力を販売している

| 地域 | 茨城県つくば市 | 茨城県つくば市 | 兵庫県加西市 | 兵庫県加古郡 | 徳島県吉野川市 |
|------|---------|---------|--------|--------|---------|
| 設備容量 | 2.0MW | 2.0MW | 3.5MW | 1.7MW | 1.3MW |

事業内容

住宅セグメント



ECO SQUARE
エコスクエア姫路城東

事業内容

- セキスイハイム山陽において兵庫県（姫路市 加古川市 高砂市 相生市 たつの市 赤穂市 宍粟市 加西市 小野市）でユニット住宅の販売・施工を行う
- リブライフでは兵庫県下全域で在来工法での住宅・販売を行う
- セキスイハイム山陽・リブライフにて兵庫県下を中心に不動産賃貸を行う他、リブライフはセンチュリー21の代理店として不動産の販売・管理も手掛ける

特色

- セキスイハイム山陽は設立から50年以上が経過し、兵庫県下の販売エリア内で10,000戸以上の住宅販売実績を有す
- 新築のみならず、過去、当社が販売した住宅のリフォーム・メンテナンスニーズも取り込み、業績の安定化を図っている
- 大型分譲地において「まちなみデザインガイドライン」を策定 姫路城をモチーフに石垣などを組み合わせることで、統一感のある美しいまちなみをトータルプランニング

その他

事業内容

- リブライフにおいて兵庫県下を中心に飲食事業（まいどおおきに食堂）の運営を行う

ESGへの取り組み

- 2021年8月に社内に「SDGs委員会」を立ち上げ
以下の方針のもと、事業全般を通じて持続可能な社会の実現に貢献することを目指す
 - サステナブルな未来に向け自社のあるべき姿を模索する
 - 解決すべき課題を見つけ重点的に取り組む
- 兵庫県SDGs宣言企業ゴールドステージ認証

姫路市SDGs宣言書における当社の宣言



フードドライブの活用として“もったいないからありがとう活動”を社内で展開し定期的にフードバンクへの寄付を実施します。



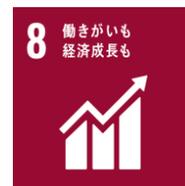
自社太陽光発電所で発電した電気やカーボンニュートラルガス（CNガス）を事業所で使用することで、カーボンゼロを目指します。



上下水道管・ガス管の埋設工事などライフラインに携わる企業として、生活インフラの維持、管理、促進に貢献いたします。



採用及び人事評価を男女平等に行い、女性の管理者への登用を積極的に実施、育児休暇延長取得・時短勤務等の導入により男女ともに働きやすい環境を構築します。



スマートワークプロジェクト活動と称して、日々の業務の見直し効率化を図ります。従業員からの要望・提案を吸い上げ、働きやすい職場環境を整備していきます。



お客様へ太陽光発電、風力発電等を計画、提案し再生可能エネルギーの施工を通じて温室効果ガス削減に取り組む事業を行います。

社会・地域貢献とスポーツ協賛

- 兵庫県内の地域スポーツチームへの協賛を通じ、社会・地域に貢献しています



ASハリマアルビオン
(女子サッカー)



神戸ストークス
(男子バスケットボール)



アストライア
(女子バスケットボール)



姫路イーグレッタース
(野球)

主な営業拠点



本日はありがとうございました

当資料は、情報提供のみを目的としており、売買勧誘を目的としたものではありません。

当資料は、当資料が作成された時点で入手可能な情報により作成されたものであり、様々な要素により実際の業績は見通しと大きく異なる可能性があります。

また、株主・投資家・アナリストの皆様がいかなる目的にご利用される場合においても皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提に提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負うものではありません。

当資料に関するお問い合わせ先

美樹工業株式会社 管理本部

TEL

079-281-5151

E-mail

ir@mikikogyo.co.jp